

令和4年度 気比中学校 スクールプラン

敦賀市立気比中学校〔生徒数380名、学級数17〕

保護者・地域の願い

- ・心豊かに育ってほしい。
- ・いじめがない学校であってほしい。
- ・安全に登下校してほしい。
- ・楽しく充実した学校生活を送ってほしい。

学校教育目標

心豊かでたくましく、未来を切り拓く生徒の育成

生徒・学校の実態

- ・学校行事に協力して取り組める。
- ・学校の規則を守ろうとする意識が高い。
- ・さらなる学力の向上、生徒指導(特に生徒理解)の充実に向けて努力を継続する。

めざす学校像

- ・確かな学力を身につけ、心身ともに健やかに育つ学校
- ・校是や伝統を踏まえ、生徒に志を持たせ自立を促す学校
- ・教職員と生徒、保護者がともにつくる学校

校是(めざす生徒像)

自啓：自らが自己の知性を高め、人格の高揚に努力する生徒  
 敬愛：郷土を愛し、他人を敬愛し、互いに助け合って勤労に励む生徒  
 清楚：清らかで美しい心を持ち、自己の品性を高める努力をする生徒  
 剛健：スポーツに親しみ、正義を重んじ、何事にもくじけない強い心とたくましい体をきたえる生徒  
 (自らの知性と人格を高め 郷土や他人を敬愛し 清らかな心と品性を持ち 心身ともにたくましい生徒)

めざす教師像

- ・子どもの成長に感動し、共感する教師(感動)
- ・人間として成長する教師 (挑戦と豊かな感性)
- ・常に周りに感謝する教師(気づきと感謝)

個性を伸ばし、可能性を引き出す

困難を乗り越える心・調整力を育む

重点目標・具体的な取組

重点目標

具体的取組

数値目標

確かな学力

- ①思考力・判断力・表現力の育成
- ②主体的に学習に向き合い、仲間と学び合う授業の充実(学ぶ楽しみの体感)

- 振り返り(メタ認知)を次の時間の課題に活かしながら、思考(学び)の繋がりを重視した授業づくりの工夫
- 授業と家庭学習のスパイラルな繋がりを
- 生徒自身が学びの追究方法を自己選択できる場の設定(授業中)
  - ・1人1台端末活用の充実
  - ・個別最適学習への取組

- ・「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒 90%
- ・「授業がよくわかる」と答える生徒 85%
- ・生徒の読書冊数(生徒1人・年間) 15冊以上

豊かな人間性

- ①自治の力の育成
- ②状況を判断し、行動する生徒の育成

- 違いを認め合い、失敗を恐れることなく、互いのがんばりを肯定的に受けとめる集団づくり(学級、学年、生徒会)
  - ・親しき仲にも礼儀あり(あいさつ、返事、時間、ルールを守る意識の高揚)
  - ・自分達で考え、行動する集団
  - ・心を磨く清掃(黙勤・変化への気づき)
- 道徳教育や人権教育の充実
  - ・感性を磨く体験活動をもとに

- ・「学校が楽しい」と答える生徒 90%
- ・「みんなで何かをするのは、楽しい」と答える生徒 90%
- ・道徳の授業公開(全クラス)(保護者・地域に参観授業実施) 100%

健やかな心身

- ①安全・安心で落ち着いた学習環境づくりの推進
- ②健康でたくましいからだや心づくりの充実

- 「いのち」を尊重した教育の推進
  - ・教育相談(カウンセリング)の充実(全員SCカウンセリング年2回以上の実施)
  - ・いじめ、不登校への組織的対応
- 家庭・地域との連携によるデジタル・シティズンシップ教育の推進
- 危機管理能力と安全意識のさらなる高揚
  - ・自転車事故・SNSトラブル回避のために

- ・「相談できる相手がいる」と答える生徒 90%
- ・いじめの解消 100%
- ・新たな不登校数の減少 →前年度より増加させない
- ・家庭でのSNS活用ルールの遵守 85%

接続・連携・つながり

- ①新たな伝統を意識した学校づくりの推進
- ②「つながり」を意識した小中一貫教育や「ふるさと教育」の推進

- 良き伝統の継承、柔軟な発想での改革
  - ・自分の良さを輝かせ、同僚性を発揮(教職員)
  - ・地域と繋がる生徒会(SDGsの視点で)
  - ・教育活動の「見える化」(HPの充実と広報、授業参観の工夫)
- 「繋がり」を働き方改革に活かす
  - ・PTA ・小中接続 ・中高接続
  - ・関係機関との連携 ・地域人材の活用

- ・学校HPを閲覧する保護者の割合→5割(学習活動紹介の記事の更新→週2回以上)
- ・超過勤務者(80時間)教職員数→ゼロを継続
- ・平均退勤時刻 19時

研究テーマ

「互いを認め、学びを深め、自己実現をめざす生徒の育成(3年次)」